組合員数106,308人
支部数　946
読者数　66,180人
（5日現在）
〔連絡先〕☎03（5978）2751　FAX03（5978）2777
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

年金者しんぶん

第393号　2022年9月15日（木）
（通巻第592号）
全日本年金者組合中央本部
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人　杉澤　隆宣　月刊１部100円（組合費に含む）
昭和57年６月30日第三種郵便物認可

中央本部　厚労省に要求書

物価上昇に見合った年金引き上げを

来年度改定で

年金者組合中央本部は8月22日、衆議院第1議員会館で、来年度の年金額改定にあたって物価上昇率に見合った年金の増額を求め加藤勝信厚生労働相宛てに要求書を提出し交渉を行いました。

冒頭、杉澤隆宣委員長は、「春の年金改定で0・4％減額となったが、物価の値上がりはとどまることを知らない状況の下、物価の上昇に見合って年金額を引き上げるべきである。年金増額はすべて消費に使われ、地域経済の回復にもつながる。高齢者の年金を改善することは日本経済にとっても重要である」と強調しました。

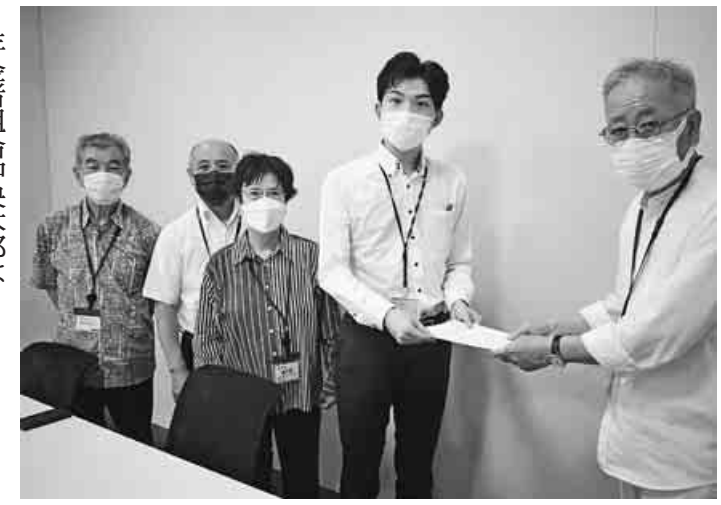
交渉では、2000年から02年の3年間は物価が下がった際に、景気をさらに冷え込ませないために、年金額を下げず前年度と同じ額にする法律を国会が全会一致で成立させた（「特例水準」）。これだけ物価が急騰する下で、年金額削減は許されない。ドイツでは物価高騰の救済策として年金水準を大幅に引き上げ、イタリアもフランスも実施している事実を示し、物価上昇率にあわせて年金額を増額するよう強く主張しました。

さらに、23年度の年金額改定は日銀や総務省の消費者物価指数を示し、具体的な年金引き上げ率を示して見解をただしました。

これに対し、厚労省担当者は「おおむねご指摘の通り、現在の物価変動率だと年金額は増額の見込みである」と回答しました。

中川滋子女性部長は、「低年金者、とりわけ女性の生活は物価高騰で絞殺されるような大変な実態にあるという認識があるのか。積立金の活用など、高齢女性の苦境に目を向けて政策をつくるべきである」と主張し、年金の増額を訴えました。

（要求内容は、2面「針路」に掲載）



厚労省担当官（右から２人目）に要求書を手渡す杉澤中央執行委員長（右端）ら

連続拡大240カ月

－埼玉・富士見支部－

地域に見える年金者組合めざし20年

楽しい文化活動で

18サークルが次々仲間迎える

高齢者比２％超える

年金者組合は1万人の目標を掲げ、9月を準備月間に、10月、11月を「仲間増やし月間」に取り組みます。240カ月連続拡大を果たした埼玉・富士見支部は「全国の仲間の先頭に立ってこの秋も目標を達成しよう」と意気込んでいます。支部長の小倉洋一さんに寄稿してもらいました。

埼玉・富士見支部は、先月9日の支部委員会で念願の組合員連続拡大240カ月達成を全員の拍手で確認し喜びあいました。連続拡大は、支部結成3年後の2002年9月からスタートし、当時140人だった支部が現在は553人となっています。

支部はこの20年間、「楽しくなければ年金者組合じゃない！」をモットーに文化活動を粘り強く取り組んできました。支部文化祭（展示・舞台発表）を毎年秋に開催して広く市民にお知らせすることと、サークル活動を援助し、各サークルが活動拠点とする公民館の「まつり」や市の施設での行事に積極的に参加するよう働きかけました。

この二つの活動が、支部結成時に決めた「富士見市の中に年金者組合の存在を知らしめる」ための大きな原動力となりました。現在は18のサークルが多彩な活動を行う中で新しい仲間を増やし続けています。高齢者人口比率は2％（2022年人口統計）を超え、連続拡大とあわせて支部の誇りとしています。

日常の支部活動は、顔が見えるブロック活動、趣味を生かしたサークル活動、そして高齢者の組合として助け合い・ボランティア活動を基本に、諸課題に取り組んでいます。毎月新しい仲間を迎えることを愚直に実行し、月2回の支部役員会で、必ず「組合員の増減」を確認してきました。

この20年、ピンチな月が何回もありましたが、支部長を中心に対象者をあげてなんとか乗り切ってきました。あの時あきらめなかったことが今につながっていると思い感慨深いものがあります。

秋の「仲間づくり月間」がはじまりました。連続拡大をさらに続け、高齢者比率2％のさらなる向上のために、富士見支部として何ができるかを模索しながら、地域の高齢者のいのちと暮らしに責任を持つ年金者組合の支部として、全国のみなさんと共に頑張りたいと思います。

▼訂正＝前号1面、東京・足立区の見出し「千住九条の会が建立」は「九条の碑を建立する会が建立」の誤りでした。

240カ月連続拡大からさらに前進する富士見支部のみなさん

風雪

▼「お笑い三人組」で人気を博した三遊亭金翁（当時は小金馬）さんが亡くなった。共演者の一龍斎貞鳳は、この番組を踏み台に自民党参議院議員になったが、一期だけで落選した。

▽彼が落選したのは「国会議員になって、態度が一変、尊大になったから」といわれた。そう、役職につくと『エラくなった』モードに入る人は少なくない。「連合」の芳野友子会長もそういう人ではないか。

▼麻生副総裁、小渕組織運動本部長など自民党幹部との会食を批判されても「どこが悪いの」。『高卒女子からエラくなった』ことが実感できるものね。

▽統一教会の教祖文鮮明に心酔した松下正寿氏創設の富士政治大学で受けた研修内容を今でも自慢げに披露するという芳野会長。「会社と闘えず、提案もできず、無駄な政治活動ばかりの労働組合などいらない」。こんなエラくない組合員の声は聞こえないか。